

法人名	社会福祉法人 つくしんぼの会
施設名	つくしんぼ保育園

発表者名 (職名)	武田 愛 保育士	住所	横浜市磯子区杉田9-1-50		
発表者名 (職名)		TEL	045-774-6081	FAX	045-774-6081
発表者名 (職名)		メールアドレス	tkh774@iris.ocn.ne.jp		
		URL			
		定員	48名	職員数	17名

発表の概要・内容
<p>◎はじめに つくしんぼ保育園は、磯子区と金沢区の境目に位置し、0歳児から就学時前までの子どもたち定員45名が在園し、3・4・5歳児25名と一緒に過ごしています。 15年くらい前からカプラ遊びに取り組み、いつでも手に取れる場所に置いて、慣れ親しんでいます。日常の中でどのように使われ、遊びにどう影響しているのか、そして、もっと生活の中に溶け込むカプラになるにはどうしたらよいか、「カプラ考案者トムさんの言葉」を借りて検証してみたいと思って取り組みました。</p> <p>「トムさんのことば」の中から</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初対面の人とだってカプラさえあれば一緒に遊べる 実践取り組み* 港南つくしんぼ保育園4歳児カプラ遊び交流 つくしんぼ保育園4歳児9名 港南つくしんぼ保育園25名の交流 2. どうしても創りたい形がある時は一人でやりたい。 でも仲間とわいわい一緒に積むのが楽しい時もある。 実践取り組み* 3・4・5歳児合同でカプラ遊び 以前4歳児で遊んだドーム作りをまたやりたいという声があり、4歳児2人と保育者1名ではじめる。4歳児も5歳・3歳児も加わり大きなドーム作りとなる。5歳児の「入り口も作れるよ」という提案に入り口のあるドーム作りが始まる。ドームづくりの傍で一人で街づくりをする子・少し離れたスペースで邪魔されないように遊ぶ子などの姿もあった。 3. うまい作品より自分が満足できるものができたか？それがその人を表現できたか？ 自分らしさを出せたかうまい下手よりそれが大事なことだ。遊んでいる時の楽しさ、少しでも思い通りにつくれた時のうれしさそんな心の中は見えにくい。 でも、一番大切だ。心の豊かさは比べるものではない。 実践取り組み* ラクダをつくると宣言して始めた。崩れても崩れても諦めないで挑戦した。 4. 大人が遊ぶと子ども理解が深まる。手を動かすと遊び心が目を覚ます。 実践取り組み* 3・4・5歳児カプラ遊びの時間に大人も本気でカプラと格闘する。 <p>日本でカプラの普及活動を始めようとした智子さんにトムからの言葉 「ともこ、いつもカプラをさわっているんだよ」</p>

メモ